

氏名	小林 たつ子 / KOBAYASHI Tatsuko
所属・職名	松本看護大学 看護学部 学部長・教授
連絡先	
担当科目	教養ゼミナール、研究入門、看護学概論、基礎看護技術Ⅰ（日常生活援助技術）、基礎看護技術Ⅱ（診療の補助技術）、ヘルスアセスメント、医療の看護と倫理、連携ゼミナールⅠ、基礎看護技術Ⅲ、看護過程展開論、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ
学歴	山梨大学大学院 博士課程医学工学総合教育部人間環境医工学専攻 修了
学位	博士（医科学）
主な経歴	
研究分野	
所属学会	日本看護科学学会、日本看護教育学会、日本看護技術学会、日本教育研究学会、日本看護研究学会、看護診断学会、日本排尿機能学会
主な研究業績	
著書	<ol style="list-style-type: none"> 1 臨地看護学実習ガイダンス1.共著.平成10.医学芸術社.P70-79、P88-151 2 看護必修科目エッセンス.共著.平成12.メディカ出版.P428-433、P39-40 3 ケアの根拠[第2版].共著（監修：道又元裕）.平成24.日本看護協会.P84 4 社会福祉の新潮流①新社会福祉論.共著（編著：川池智子）.平成24.学文社.P150-156
学術論文	<ol style="list-style-type: none"> 1 リフレクソロジーによる排便状況の変化について—便秘傾向にある健康女子大生を対象にして—.共著.平成23.山梨県立大学看護学部紀要13（1）.P69-76 2 高齢者の夜間頻尿に対する足浴の効果.単著.平成23.泌尿器ケア16（2）.P71-73 3 特養・老健における看護職・介護職連携の現状.単著.平成22.コミュニティケア12（9）.P50-59 4 看護師の腰痛予防のための体操を勤務時間内に取り入れた成果の検討.共著.平成24.山梨県立大学看護学部紀要14（1）.P21-31 5 ヒーリングタッチ介入技法の初段階「集中する」ことの施術者の生体反応の検討.共著.平成25.山梨県立大学看護学部紀要15（1）.P23-35 6 夕方の足浴が夜間頻尿の高齢者の夜間排尿状態と睡眠状態に与える効果.共著.平成26.山梨県立大学看護学部紀要16（1）.P1-9 7 くも膜下出血患者の術後急性期における睡眠の実態.共著.平成26.日本ニューロサイエンス看護学会誌2(1)、P21-28 8 ヒーリングタッチによる、就労後看護師の疲労感に対する効果の検討.共著.平成26.日本看護科学学会誌VOL34.P255-262 9 アクティグラフマイクロミニ音型センサーを用いた長蠕動運動評価の試み—評価の再現性について—.共著.平成27.理学療法科学30（1）.P125-129 10 複数患者受け持ちに関する学生の学びと困難をふまえた統合実習指導の課題.共著.平成29.長野県看護大学紀要19巻.P33-44